

2026年2月13日

各 位

## 扶桑药品工業、サプライチェーンリスク管理クラウド 「Resilire（レジリア）」を導入

扶桑药品工業株式会社（大阪市中央区、代表取締役社長：戸田幹雄、以下、「当社」）は、株式会社 Resilire（東京都港区、代表取締役 CEO：津田 裕大）が開発・提供するサプライチェーンリスク管理クラウドサービス「Resilire」を導入したことをお知らせします。

当社は、2025年8月に策定した中期経営方針『FUSO ビジョン 2030 Next Stage』において、製薬企業の社会的責務である医薬品の安定供給体制の強化を重要戦略の一つに掲げておますが、その実現には国内外のサプライヤーとの協働が不可欠です。こうした背景を踏まえ、2025年10月のサプライチェーンマネジメント（SCM）室新設に伴う機能強化と連動し、サプライチェーン強靭化に向けたDX（デジタルトランスフォーメーション）推進の一環として、サプライチェーンリスク管理ソリューション「Resilire」の導入を決定いたしました。

「Resilire」を活用することで、複雑化するサプライチェーン全体の『見える化』を実現し、サプライヤーとのシームレスな情報連携を通じて、供給途絶リスクを最小限に抑える、迅速かつ的確なリスク対応体制を構築してまいります。

今後は、このプラットフォームを単なるリスク管理に留めることなく、将来的なサステナビリティ・人権デューデリジェンスへの対応、そしてグローバルな SCM のデジタル化を推進するための基盤として活用し、患者さんとそのご家族に必要とされる医薬品を確実にお届けできるよう、全社を挙げて企業努力を続けてまいります。

### ■「Resilire（レジリア）」について

医薬品は健康を支える重要な社会インフラですが、その安定供給の実現は難しくなっているのが現状です。特に医療用医薬品については、現在、深刻な供給不安が生じている品目もあります。

背景には様々な課題がありますが、サプライチェーンの複雑化はその一因です。製薬企業では、従前に比べ取扱品目は増え、また自社生産から製造委託への切り替えも進んでいます。原料や原薬の調達先は海外への切り替えが進み、サプライチェーンは急激にグローバル化しています。複雑化したサプライチェーンをいかに効率的に管理し、サプライチェーンリスクを低減していくのか、という点は、製薬業界全体の課題になっています。

「Resilire」は、これらの課題の解決を支援するシステムです。社内に散在し属人管理されがちなサプライチェーン情報をクラウドで一元管理し、また、複雑化するサプライチェーンを可視化します。これによりサプライチェーンのどこに潜在的なリスクがあるのか把握しやすくなり、リスク評価やリスク低減活動を円滑に

実施できます。

また、サプライチェーン上の製造所・物流拠点はマップ上に可視化され、リスクが顕在化した際は自動で通知されます。リスクを効率的に早期検知することが可能です。また、リスクが顕在化した際は、サプライチェーン上の生産影響は自動で調査され、効率的に影響製品の特定が可能です。在庫確認や代替調達先の検討といった初動対応に関する迅速な意思決定をサポートします。

#### 【会社概要】

#### 扶桑薬品工業株式会社

会社名 : 扶桑薬品工業株式会社  
設立 : 1937年3月25日  
代表者 : 代表取締役社長 戸田 幹雄  
本社所在地 : 大阪市中央区道修町1丁目7番10号  
事業内容 : 医薬品の研究開発、製造、販売  
URL : <https://www.fuso-pharm.co.jp/>

#### Resilire レジリア

会社名 : 株式会社 Resilire  
設立 : 2018年9月  
代表者 : 代表取締役 CEO 津田 裕大  
本社所在地 : 東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝 10F  
事業内容 : サプライチェーンリスク管理サービス「Resilire」の開発・提供  
URL : <https://www.resilire.jp/pharmaceutical>

以上

＜お問合せ先＞

扶桑薬品工業株式会社 経営企画部広報室  
TEL : 06-6969-1131  
e-mail : kouhou@fuso-pharm.co.jp